

2021年度

決 算 書

自 2021年 4月 1日
至 2022年 3月 31日

2022年6月

一般財団法人 国際情報化協力センター

目 次

財務諸表

1. 貸借対照表	1 頁
2. 貸借対照表内訳表	2 頁
3. 正味財産増減計算書	3 頁
4. 正味財産増減計算書内訳表	6 頁
5. 財務諸表に対する注記	7 頁
6. 附属明細書	9 頁
7. 財産目録	10 頁
8. 収支計算書（正味財産増減計算方式）	11 頁

監査報告書

9. 監事監査報告書	13 頁
10. 独立監査人の監査報告書	14 頁

貸借対照表
2022年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	374,355	61,296	313,059
普通預金	96,148,596	105,336,522	△ 9,187,926
未収入金	11,520,845	0	11,520,845
前払金	854,887	764,927	89,960
流動資産合計	108,898,683	106,162,745	2,735,938
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	100,000,000	50,000,000	50,000,000
投資有価証券	0	100,013,000	△ 100,013,000
基本財産合計	100,000,000	150,013,000	△ 50,013,000
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	114,243,000	106,437,700	7,805,300
特定資産合計	114,243,000	106,437,700	7,805,300
(3) その他固定資産			
建物付属設備	174,222	217,777	△ 43,555
什器備品	72,519	84,516	△ 11,997
敷金	7,576,250	5,129,750	2,446,500
その他固定資産合計	7,822,991	5,432,043	2,390,948
固定資産合計	222,065,991	261,882,743	△ 39,816,752
資産合計	330,964,674	368,045,488	△ 37,080,814
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	8,445,606	2,885,860	5,559,746
預り金	443,952	437,143	6,809
賞与引当金	2,500,000	2,500,000	0
流動負債合計	11,389,558	5,823,003	5,566,555
2. 固定負債			
退職給付引当金	114,243,000	106,437,700	7,805,300
固定負債合計	114,243,000	106,437,700	7,805,300
負債合計	125,632,558	112,260,703	13,371,855
III 正味財産			
1. 指定正味財産	100,000,000	150,013,000	△ 50,013,000
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)	(150,013,000)	(△ 50,013,000)
2. 一般正味財産	105,332,116	105,771,785	△ 439,669
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	205,332,116	255,784,785	△ 50,452,669
負債及び正味財産合計	330,964,674	368,045,488	△ 37,080,814

貸借対照表内訳表

2022年3月31日現在

(単位：円)

科 目	実施事業等会計	その他会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金	0	0	374,355	0	374,355
普通預金	0	0	96,148,596	0	96,148,596
未収入金	11,520,845	0	0	0	11,520,845
前払金	0	0	854,887	0	854,887
他会計貸借	0	0	590,038,124	△ 590,038,124	0
流動資産合計	11,520,845	0	687,415,962	△ 590,038,124	108,898,683
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
定期預金	0	0	100,000,000	0	100,000,000
投資有価証券	0	0	0	0	0
基本財産合計	0	0	100,000,000	0	100,000,000
(2) 特定資産					
退職給付引当資産	83,039,191	0	31,203,809	0	114,243,000
特定資産合計	83,039,191	0	31,203,809	0	114,243,000
(3) その他固定資産					
建物付属設備	0	0	174,222	0	174,222
什器備品	0	0	72,519	0	72,519
敷金	0	0	7,576,250	0	7,576,250
その他固定資産合計	0	0	7,822,991	0	7,822,991
固定資産合計	83,039,191	0	139,026,800	0	222,065,991
資産合計	94,560,036	0	826,442,762	△ 590,038,124	330,964,674
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	8,314,382	0	131,224	0	8,445,606
預り金	0	0	443,952	0	443,952
賞与引当金	1,902,500	0	597,500	0	2,500,000
他会計貸借	590,038,124	0	0	△ 590,038,124	0
流動負債合計	600,255,006	0	1,172,676	△ 590,038,124	11,389,558
2. 固定負債					
退職給付引当金	83,039,191	0	31,203,809	0	114,243,000
固定負債合計	83,039,191	0	31,203,809	0	114,243,000
負債合計	683,294,197	0	32,376,485	△ 590,038,124	125,632,558
III 正味財産					
1. 指定正味財産	0	0	100,000,000	0	100,000,000
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(100,000,000)	(0)	(100,000,000)
2. 一般正味財産	△ 588,734,161	0	694,066,277	0	105,332,116
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	△ 588,734,161	0	794,066,277	0	205,332,116
負債及び正味財産合計	94,560,036	0	826,442,762	△ 590,038,124	330,964,674

正味財産増減計算書
2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	18,122	39,005	△ 20,883
② 受取会費			
賛助会費受取会費	18,820,000	19,320,000	△ 500,000
③ 事業収益			
書籍販売収益	255,200	369,600	△ 114,400
④ 受取補助金等			
JKA補助金	1,200,000	0	1,200,000
ベトナム土地管理調査事業受託金	10,320,845	0	10,320,845
情報提供請負金	942,700	0	942,700
テレワーク助成金	0	690,000	△ 690,000
受取補助金等計	12,463,545	690,000	11,773,545
⑤ 受取負担金			
出向負担金	5,250,000	5,250,000	0
⑥ 受取寄附金			
基本財産振替額	50,000,000	100,000,000	△ 50,000,000
⑦ 雑収益			
受取利息	3,272	4,304	△ 1,032
雑収益	121,720	26,380	95,340
雑収入計	124,992	30,684	94,308
経常収益計	86,931,859	125,699,289	△ 38,767,430
(2) 経常費用			
① 事業費			
受託事業費	7,939,048	1,125,280	6,813,768
研究員手当	1,262,475	0	1,262,475
航空賃	0	0	0
滞在費	0	0	0
現地活動費	0	0	0
会議開催費	1,734,934	0	1,734,934
再委託費	4,336,200	0	4,336,200
その他雑費	605,439	1,125,280	△ 519,841
国際情報化協力事業費	3,877,057	5,094,631	△ 1,217,574
航空賃	0	0	0
滞在費	0	0	0
受入雑費	0	0	0
現地活動費	0	0	0
車両借上費	0	0	0
通訳料	207,900	552,200	△ 344,300
会場借上費	1,354,650	1,470,150	△ 115,500
受入会議費	0	0	0
外注費	1,959,434	2,514,765	△ 555,331
資料印刷費	184,819	181,654	3,165
その他雑費	170,254	375,862	△ 205,608

人件費	38,944,796	37,471,867	1,472,929
役員報酬	12,273,444	11,699,030	574,414
職員給料	16,415,278	16,135,866	279,412
賞与手当	4,264,748	3,904,072	360,676
通勤手当	494,342	265,898	228,444
法定福利費	5,372,756	5,346,769	25,987
福利厚生費	124,228	120,232	3,996
事務費	1,149,620	1,624,907	△ 475,287
通信費	429,628	418,828	10,800
消耗品費	62,899	495,020	△ 432,121
賃借料	657,093	711,059	△ 53,966
借上施設費	9,066,348	9,124,188	△ 57,840
減価償却費	48,269	61,143	△ 12,874
退職給付費用	6,059,076	6,455,340	△ 396,264
賞与引当金繰入額	1,902,500	1,905,000	△ 2,500
事業費計	68,986,714	62,862,356	6,124,358
②管理費			
人件費	11,373,039	10,896,393	476,646
役員報酬	3,068,364	2,924,762	143,602
職員給料	5,155,394	5,039,814	115,580
賞与手当	1,339,391	1,219,385	120,006
通勤手当	149,335	79,426	69,909
法定福利費	1,623,025	1,597,089	25,936
福利厚生費	37,530	35,917	1,613
事務費	3,294,024	3,240,014	54,010
会議費	19,543	49,335	△ 29,792
旅費交通費	103,036	101,778	1,258
通信費	64,768	60,932	3,836
消耗品費	9,488	762,308	△ 752,820
修繕費	220,022	344,410	△ 124,388
資料購入費	111,200	65,300	45,900
印刷製本費	206,316	207,447	△ 1,131
賃借料	99,058	103,445	△ 4,387
広告宣伝費	799,700	0	799,700
交際費	0	3,971	△ 3,971
諸謝金	800,065	767,580	32,485
租税公課	88,903	100,510	△ 11,607
負担会費	332,000	132,000	200,000
会議室借料	61,000	97,170	△ 36,170
支払手数料	345,575	346,292	△ 717
雑費	33,350	97,536	△ 64,186
借上施設費	1,366,744	1,327,355	39,389
減価償却費	7,283	8,900	△ 1,617
退職給付費用	1,746,224	1,863,760	△ 117,536
賞与引当金繰入額	597,500	595,000	2,500
管理費計	18,384,814	17,931,422	453,392
經常費用計	87,371,528	80,793,778	6,577,750
評価損益等調整前当期經常増減額	△ 439,669	44,905,511	△ 45,345,180
評価損益等			
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期經常増減額	△ 439,669	44,905,511	△ 45,345,180

2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 439,669	44,905,511	△ 45,345,180
一般正味財産期首残高	105,771,785	60,866,274	44,905,511
一般正味財産期末残高	105,332,116	105,771,785	△ 439,669
II 指定正味財産増減の部			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	18,122	39,005	△ 20,883
② 評価損益等			
投資有価証券評価損益等	△ 13,000	27,000	△ 40,000
③ 一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 50,018,122	△ 100,039,005	50,020,883
当期指定正味財産増減額	△ 50,013,000	△ 99,973,000	49,960,000
指定正味財産期首残高	150,013,000	249,986,000	△ 99,973,000
指定正味財産期末残高	100,000,000	150,013,000	△ 50,013,000
III 正味財産期末残高	205,332,116	255,784,785	△ 50,452,669

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

貸借対照表日において、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は存在しない。

2. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

①建物付属設備及び什器備品(リース資産を除く)……定率法によっている。

②リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が平成20年3月31日以前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金……期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

賞与引当金……職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	50,000,000	50,000,000	0	100,000,000
投資有価証券	100,013,000	0	100,013,000	0
小 計	150,013,000	50,000,000	100,013,000	100,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	106,437,700	7,805,300	0	114,243,000
小 計	106,437,700	7,805,300	0	114,243,000
合 計	256,450,700	57,805,300	100,013,000	214,243,000

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	100,000,000	(100,000,000)	(0)	—
投資有価証券	0	(0)	(0)	—
小 計	100,000,000	(100,000,000)	(0)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	114,243,000	(0)	(0)	(114,243,000)
小 計	114,243,000	(0)	(0)	(114,243,000)
合 計	214,243,000	(100,000,000)	(0)	(114,243,000)

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物付属設備	1,561,784	1,387,562	174,222
什器備品	4,686,380	4,613,861	72,519
合 計	6,248,164	6,001,423	246,741

注：科目は、貸借対照表による。

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息の振替額	18,122
基本財産の振替額	50,000,000
合 計	50,018,122

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記3「基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」及び注記4「基本財産及び特定資産の財源等の内訳」に記載しているため省略する。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	2,500,000	2,500,000	2,500,000	0	2,500,000
退職給付引当金	106,437,700	7,805,300	0	0	114,243,000

上記引当金の計算基準は「財務諸表に対する注記」に記載のとおりである。

財 産 目 録

2022年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金手許有高	374,355	
普通預金	96,148,596	みずほ銀行他2行
未収入金	11,520,845	受入補助金等
前払金	854,887	4月分家賃他
流動資産合計	108,898,683	
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
定期預金	100,000,000	みずほ銀行
投資有価証券	0	
基本財産合計	100,000,000	
(2) 特定資産		
退職給付引当資産	114,243,000	普通預金、定期預金
特定資産合計	114,243,000	
(3) その他固定資産		
建物付属設備	174,222	間仕切り工事等
什器備品	72,519	会議用テーブル、金庫等
敷金	7,576,250	シモジンビルディング他
その他固定資産合計	7,822,991	
固定資産合計	222,065,991	
資産合計	330,964,674	
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	8,445,606	事業経費他
預り金	443,952	源泉所得税他
賞与引当金	2,500,000	職員支給見込額
流動負債合計	11,389,558	
2. 固定負債		
退職給付引当金	114,243,000	役職員5名分
固定負債合計	114,243,000	
負債合計	125,632,558	
正味財産	205,332,116	

収 支 計 算 書 (正味財産増減計算方式)
2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	実績額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	17,000	18,122	1,122
② 受取会費			
賛助会費受取会費	18,620,000	18,820,000	200,000
③ 事業収益			
書籍販売収益	400,000	255,200	△ 144,800
④ 受取補助金等			
受取補助金等	11,200,000	12,463,545	1,263,545
⑤ 受取負担金			
出向負担金	5,250,000	5,250,000	0
⑥ 受取寄付金			
基本財産振替額	50,000,000	50,000,000	0
⑦ 雑収益			
受取利息	5,000	3,272	△ 1,728
雑収益	50,000	121,720	71,720
雑収益計	55,000	124,992	69,992
経常収益計	85,542,000	86,931,859	1,389,859
(2) 経常費用			
① 事業費			
受託事業費	8,500,000	7,939,048	△ 560,952
国際情報化協力事業費	23,300,000	3,877,057	△ 19,422,943
人件費	41,912,740	38,944,796	△ 2,967,944
事務費	1,268,640	1,149,620	△ 119,020
借上施設費	9,250,500	9,066,348	△ 184,152
減価償却費	44,050	48,269	4,219
退職給付費用	6,143,820	6,059,076	△ 84,744
賞与引当金繰入額	0	1,902,500	1,902,500
事業費計	90,419,750	68,986,714	△ 21,433,036
② 管理費			
人件費	11,387,260	11,373,039	△ 14,221
事務費	3,731,360	3,294,024	△ 437,336
借上施設費	1,249,500	1,366,744	117,244
減価償却費	5,950	7,283	1,333
退職給付費用	1,656,180	1,746,224	90,044
賞与引当金繰入額	0	597,500	597,500
管理費計	18,030,250	18,384,814	354,564
経常費用計	108,450,000	87,371,528	△ 21,078,472
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 22,908,000	△ 439,669	22,468,331
評価損益等			
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 22,908,000	△ 439,669	22,468,331

2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 22,908,000	△ 439,669	22,468,331
一般正味財産期首残高	105,771,785	105,771,785	0
一般正味財産期末残高	82,863,785	105,332,116	22,468,331
II 指定正味財産増減の部			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	17,000	18,122	1,122
② 評価損益等			
投資有価証券評価損益等	0	△ 13,000	△ 13,000
③ 一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 50,017,000	△ 50,018,122	△ 1,122
当期指定正味財産増減額	△ 50,000,000	△ 50,013,000	△ 13,000
指定正味財産期首残高	150,013,000	150,013,000	0
指定正味財産期末残高	100,013,000	100,000,000	△ 13,000
III 正味財産期末残高	182,876,785	205,332,116	22,455,331

監事監査報告書

2022年5月25日

一般財団法人国際情報化協力センター
理事長 新野 隆 殿

監事 小坂 泰久

監事 小紫 正樹

私たち監事は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 124 条（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 199 条において準用）及び一般財団法人国際情報化協力センター定款第 9 条及び第 28 条に基づいて、一般財団法人国際情報化協力センターの 2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日までの事業年度に係る理事の職務の執行について監査を実施しましたので、本監査報告書を作成し、以下の通り報告致します。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事会に出席したほか、理事等から業務の執行状況の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、主要な関係部署において業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該事業年度に係る事業報告及び計算書類並びに附属明細書について監査を実施いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ①事業報告は、法令及び定款に従い当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重要な事実は認められません。

(2) 計算書類等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等は、当法人の財産及び損益の状況を正しく示しているものと判断します。

以上

独立監査人の監査報告書

2022年5月18日

一般財団法人 国際情報化協力センター
理事長 新野 隆 殿

監査法人日本橋事務所
東京都中央区

指定社員 公認会計士
業務執行社員

小倉 明

指定社員 公認会計士
業務執行社員

渡邊 均

監査意見

当監査法人は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第199条において準用する同法第124条第2項第1号の規定に基づく監査に準じて、一般財団法人国際情報化協力センターの2021年4月1日から2022年3月31日までの2021年度の貸借対照表、損益計算書（公益認定等ガイドラインⅡ-4の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書について監査し、あわせて、貸借対照表内訳表及び正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産及び損益（正味財産増減）の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の財務諸表等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表等の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表等又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続組織の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続組織に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続組織を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続組織の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続組織として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

法人と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上